



ロボティクス・メカトロニクス講演会2024(ROBOMECH2024 in Utsunomiya)開催報告

開催日：2024年5月29日(水)～6月1日(土)

会場：ライトキューブ宇都宮 (〒321-0969 栃木県宇都宮市宮みらい1-20)

講演会URL：<https://robomech.org/2024/>

ROBOMECH2024実行委員長 尾崎 功一 (宇都宮大学)

ロボティクス・メカトロニクス講演会2024 in Utsunomiya (ROBOMECH2024 in Utsunomiya)では、「ロボティクス・メカトロニクスの社会実装を通じた学術の深化」をテーマに2024年5月29日(水)～6月1日(土)にかけて、ライトキューブ宇都宮において実施しました。会場はJR宇都宮駅から徒歩2分に位置し、東京や東北方面からの移動に便利な立地です。そのためもあってか、多くの論文投稿と参加申込があり、72件のOSと1,362件のご発表、および2,100名を超える方々のご参加をいただきました。さらに、チュートリアル5件、ワークショップ4件、テクニカルツアーを実施できました。また、スポンサーとして56件の企業様からご支援をいただきました。

初日5月29日(水)にワークショップ、チュートリアル、テクニカルツアーを開催しました。地域ワークショップでは近年注目のドローン活用が課題でしたが、会場でデモ飛行が行われました。また、テクニカルツアーでは製品開発の体験型見学会が実施されました。さらに、例年実施の部門登録者総会を「ロボメカ部門活動紹介～部門を知り、共に考える会～」と名称を変え、部門活動の紹介が行われ、その後交流会で親睦を深めました。

5月30日(木)および31日(金)には、ポスター・デモンストレーション講演および企業展示、特別講演会、表彰式、懇親会が実施されました。活発な議論の場とすることができました(写真1)。特別講演会では東京大学国際高等研究所東京カレッジ特任教授浅間一様をお招きし、「自律分散型ロボットシステム～群協働における自己組織化と適応」というタイトルでご講演をいただきました。複数ロボットによる協働行動の基礎から実用的な内容まで、ロボットの社会実装につながる最新的话题を解説いただきました。会場では立ち見が出るほどの大盛況でした。

懇親会はポスター会場の大ホールで開催されました。宇都宮餃子の食べ比べ、地ビールの飲み比べをご用意しました。また盛り上げに、地元栃木のスターU字工事の特別ライブを行っていただきました。サインのプレゼントもあり、大変な盛り上がりでした。さらにロボット同伴も企画し、14台のロボットが懇親会会場でデモを行っていました。ロボットを見ながらの議論を楽しんでいただけたことと思います。

6月1日(日)は市民向け企画として、レゴロボットの講習、ロボット工作、ロボコンに出場したロボットの展示などを行いました。また、自律移動ロボットが宇都宮ライトレールに乗車して、弁当とコーヒーを届けるという日本初の社会実験(写真2)を行い、そのゴールである、かしの森公園で、最新のモビリティとロボットの展示および体験型デモを行いました。多くの子どもたちがとても楽しんでくれました。

ROBOMECH2024の実施にあたっては、栃木県、宇都宮市、芳賀町の自治体、とちぎ圏央街づくり協議会、地元メディア、地域企業等から、多くのご協力をいただき、とても盛り上げることができました。そうした中で、熱いROBOMECHの議論の場を提供できたこと本当に嬉しく思っております。ROBOMECH2024に参加いただいた方、さらに、ご協力をいただきましたすべての皆様に深く感謝と御礼を申し上げます。



写真1 講演会会場



写真2 宇都宮ライトレールにロボットが乗車

部門賞・部門一般表彰報告

去る2024年5月30日(木)に開催されましたロボティクス・メカトロニクス講演会2024にて、部門賞、部門一般表彰の表彰式が行われました。

各賞の内容と受賞者を以下にご紹介します。

1. 日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門賞

日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門では、ロボティクス・メカトロニクス分野の活性化をはかるため、功績・業績を対象とする以下の部門賞を設けております。

(1) 部門功績賞

ロボティクス・メカトロニクスの分野で、研究、教育、学会活動の面で多大な影響を及ぼし、国際的評価が高く、かつ有力な著書、論文などを著している個人または団体（法主体）に贈る。

(2) 部門学術業績賞

ロボティクス・メカトロニクスの分野で萌芽的あるいは発展性のある学術業績を挙げた個人または団体（法主体）に贈る。

(3) 部門技術業績賞

ロボティクス・メカトロニクスの分野で萌芽的あるいは発展性のある技術開発面での業績を挙げた個人または団体（法主体）に贈る。

<各賞の選考プロセス>

部門運営委員会の指名による表彰委員会（委員長は副部門長が担当）が部門賞候補者の中から日本機械学会部門賞通則第5項に基づく人数以内を選考し、推薦理由を付して部門長に報告した後、最終決定をロボティクス・メカトロニクス部門運営委員会が行い、部門協議会を経て理事会に報告するものです。

<部門賞候補者の推薦方法及び時期>

部門賞の受賞候補者は原則として日本機械学会会員とします。部門賞募集は公募によるものとし、推薦または本人または団体（法主体）からの申請を部門長に提出します。募集方法は、部門ホームページや部門主催講演会などで公示しますが、推薦締切は原則として当該年度の10月末日です。

部門賞

部門功績賞	藤田 淳（三菱重工業株式会社）
部門学術業績賞	相山 康道（筑波大学）
	石黒 浩（大阪大学）
部門技術業績賞	西田 亮介（株式会社チトセロボティクス）

2. 日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門一般表彰

ロボティクス・メカトロニクス分野の活性化をはかるため、成果・貢献を対象とする以下の部門一般表彰を設けています。

(1) 部門貢献表彰

部門への著しい貢献が認められる個人、または団体に対して行う。

(2) 部門先端技術表彰

企業等において数年以内に開発・発表されたロボティクス・メカトロニクス分野に関連する新技術、製品、およびシステムを対象とし、当該技術を開発・発表した個人または団体に対して行う。

(3) 部門優秀製品表彰

ロボティクス・メカトロニクス分野に関連する製品で、設計、生産、デザインなどの技術力、独創性において国内外で高い評価をうけているものを対象とし、当該製品を開発した個人または団体に対して行う。

(4) 部門優秀論文表彰

過去3カ年に発行された日本機械学会学術誌で直接投稿され掲載された単一の論文のうち、優秀な論文の著者全員に対して行う。

(5) 部門教育表彰

ロボティクス・メカトロニクス分野に関わる教育活動において顕著な業績をあげた会員個人またはグループに対して行う。

(6) ROBOMECH表彰（学術研究分野）

当該年度のロボティクス・メカトロニクス部門が主催および共催する講演会・シンポジウムなどにおいて、研究内容および技術的成果に対して高い評価を得た著者全員に対して行う。

(7) ROBOMECH表彰（産業・実用分野）

当該年度のロボティクス・メカトロニクス部門が主催および共催する講演会・シンポジウムなどにおいて、産業応用および実用化された技術成果に対して高い評価を得た著者全員に対して行う。

(8) ベストプレゼンテーション表彰

当該年度のロボティクス・メカトロニクス講演会において、プレゼンテーション面に対して高い評価を得た個人に対して行う。

(9) ベストデモンストレーション表彰

当該年度のロボティクス・メカトロニクス講演会において、デモンストレーションに対して高い評価を得た個人に対して行う。

(10) 部門欧文誌表彰

ROBOMECH Journalに掲載された優秀な論文の著者全員に対して行う。

(11) 競技部門表彰

ロボットグランプリ、レスキューロボットコンテストおよびロボカップジュニアの各競技カテゴリにおいて、開発内容に対して高い評価を得た開発者全員に対して行う。

(12) 分野融合研究優秀表彰

分野融合研究が最も優秀な研究と評価を得た研究の著者全員に対して行う。

<各賞の選考プロセス>

部門運営委員会の指名による表彰委員会（委員長は副部門長が担当）が部門表彰候補者の中から適格者を選考し、推薦理由を付して部門長に報告した後、最終決定をロボティクス・メカトロニクス部門運営委員会が行い、部門協議会を経て理事会に報告するものです。

〈表彰候補者の推薦方法及び時期〉

部門一般表彰の表彰候補者は原則として日本機械学会会員とします。部門貢献表彰，部門先端技術表彰，部門優秀製品表彰，部門優秀論文表彰，部門教育表彰およびROBOMECH表彰の候補者は公募によるものとし，推薦または本人からの申請を部門長に提出します。募集方法は部門ホームページや部門主催講演会などで公示しますが，推薦締切は原則として部門先端技術表彰，部門優秀製品表彰，部門優秀論文表彰，部門教育表彰は当該年度の6月末日，部門貢献表彰，ROBOMECH表彰は当該年度の10月末日です。ベストプレゼンテーション表彰，ベストデモンストレーション表彰は当該年度のロボティクス・メカトロニクス講演会の実行委員会が候補者を選考し，開催日から5ヶ月以内に表彰委員会に推薦します。部門欧文誌表彰は欧文誌委員会が候補論文を選考し，当該年度の11月末日までに表彰委員会に推薦します。なお，ROBOMECH表彰で対象とする講演会・シンポジウムは前年度の10月1日以降，当該年度の9月30日までに開催されたものとし，部門欧文誌表彰で対象とする論文は前年度の10月1日以降，当該年度の9月30日までに発行されたものです。

部門貢献表彰

主な功績・業績	受賞者
FAN2023実行委員長	木口 量夫（九州大学）
ROBOMECH2023実行委員長	大原 賢一（名城大学）

部門先端技術表彰

技術名	受賞者
電動ねじ式多段伸縮ポール	斉藤 央道（コアテック株式会社）

部門優秀論文表彰

論文題目	受賞者
エンドミル荒加工のインプロセス情報と協働ロボットの仕上げ作業工程における内部および外部センサ情報取得の統合の考察（日本機械学会論文集，Vol. 88, No. 913, p. 22-00091, 2022）	山本 隆将（株式会社山本金属製作所） 松田 亮（株式会社山本金属製作所） 新堂 正俊（株式会社山本金属製作所） 廣垣 俊樹（同志社大学） 青山 栄一（同志社大学）

部門教育表彰

技術名	受賞者
ニーズ・アンド・アイデアフォーラムを通じた多分野協働人材の育成	井上 淳（東京電機大学）

ROBOMECH表彰(学術研究分野)

講演題目	受賞者
AUV MONACA による南極海探査の実施 (ROBOMECH2023)	山縣 広和 (東京大学) 山本 和 (東京大学) 藤井 昌和 (国立極地研究所) 吉田 弘 (海洋研究開発機構) 野木 義史 (国立極地研究所) 巻 俊宏 (東京大学)
単眼カメラとIMUによる頑健な6自由度Visual Positioning System (ROBOMECH2023)	大石 修士 (産業技術総合研究所) 小出 健司 (産業技術総合研究所) 横塚 将志 (産業技術総合研究所) 阪野 貴彦 (産業技術総合研究所)
超音波空中浮遊における高速カメラを利用した動的物体の制御 (ROBOMECH2023)	小野 悠太 (東京大学) 鈴木 颯 (東京大学) 牧野 泰才 (東京大学) 西海 望 (自然科学研究機構) 篠田 裕之 (東京大学)
スクリー理論を用いた2プレート6自由度パラレルメカニズムのモビリティ解析 (ROBOMECH2023)	原田 孝 (近畿大学) 八瀬 快人 (近畿大学)
臓器を吸着把持する準間接吸引式ソフト吸盤の提案 (ROBOMECH2023)	川井 晨傑 (東京工業大学) 塚越 秀行 (東京工業大学) 長岡 英気 (東京医科歯科大学) 春木 茂男 (東京医科歯科大学)
マルチイベントカメラによる PSO を用いた動作分析 (FAN2023)	江口 昌利 (東京都立大学) 大保 武慶 (東京都立大学) 久保田 直行 (東京都立大学)
ウンカ幼体の股関節構造に着想を得た小型ジャンプロボットの開発 (ROBOMECH2023)	小ノ澤 義伸 (茨城大学) 矢木 啓介 (茨城大学) 森 善一 (茨城大学)

ROBOMECH表彰(産業・実用分野)

主な功績・業績	受賞者
高速ビジョンを用いた振動可聴化 (ROBOMECH2023)	藤田 浩太郎 (広島大学) 王 飛躍 (広島大学) 島崎 航平 (広島大学) 石井 抱 (広島大学) 岡本 良 (テンパール工業株式会社) 東田 浩典 (テンパール工業株式会社)
Seafloor Visual Survey and Image Analysis using Monocular Cameras on a Low-cost Autonomous Underwater Vehicle (ROBOMECH2023)	Mercado Marie Angelyn (東京大学) Sekimori Yuki (東京大学) Toriyama Amane (東京大学) Ohashi Masaki (東京大学) Maki Toshihiro (東京大学)
外壁タイル非破壊検査のための電磁波多層走査法による空隙深さとサイズの同時推定 (ROBOMECH2023)	田中 孝之 (北海道大学) アッサリム ホセイン (電力中央研究所) 本田 匠 (株式会社大林組) 大野 湧人 (株式会社大林組) 内田 茂 (株式会社大林組)

ベストプレゼンテーション表彰

講演題目	受賞者
近接覚に基づく粘弾性を用いた接触遷移制御の基礎検討	有田 輝 (九州大学)
四脚動物の肩部柔軟性と脚運動の模倣に向けた脚機構の提案	福原 洸 (東北大学)
力センサを「一気に」印刷する3Dプリンタの開発	西村 斉寛 (金沢大学)
線状食品質量を少量高精度に調節可能な計量システムの研究	遠藤 玄 (東京工業大学)
介助者の中腰姿勢をサポートする装着型補助器	鈴木 葵 (茨城大学)
機械的振動刺激による昆虫サイボーグの行動制御	Chowdhury Mohammad Masum Refat (Osaka University)

歩行移動のための機械的要素を用いたGPS位置精度改善手法	浅川 貴史（大島商船高等専門学校）
------------------------------	-------------------

ベストデモンストレーション表彰

講演題目	受賞者
熱熔融積層方式の3Dプリンタを積極的に活用した樹脂製トロコイド減速機を用いた4足歩行ロボットの開発	高木 健（広島大学）
極薄PZT-MEMS振動子を用いた高周波振動感覚等価変換による鉛筆硬度の異なる筆記感の表現	和賀 正宗（東北大学）
能動的形状適応・柔剛切替形状保持が可能な多関節線状メカニズム	越川 璃久（東北大学）
複合型遊星歯車機構を用いた角型の厨房ダクト内清掃装置の開発	門間 洋介（中央大学）
深層強化学習による歩道環境を移動する四脚ロボットの歩行制御システム	吉田 智章（千葉工業大学）
ロボットの自己発熱を活用した認識・制御技術の検討	大澤 友紀子（産業技術総合研究所）
臨床検査・バイオ実験作業支援用マイクロチューブキャップの開発	神野 誠（国士舘大学）

部門欧文誌表彰

論文題目	受賞者
Ultrafine and crosstalk-free 2D tactile sensor by using active-matrix thin-film transistor array (ROBOMECH Journal, Vol. 10, No. 14, 2023)	Hiroumi Kinjo（株式会社ジャパンディスプレイ） Hitoshi Tanaka（株式会社ジャパンディスプレイ） Yuta Haga（株式会社ジャパンディスプレイ） Takaya Tamaru（株式会社ジャパンディスプレイ） Junji Kobashi（株式会社ジャパンディスプレイ） Kazuhiko Sako（株式会社ジャパンディスプレイ） Kazunori Yamaguchi（株式会社ジャパンディスプレイ） Shinichiro Oka（株式会社ジャパンディスプレイ）

分野融合研究優秀表彰

講演題目	受賞者
<p>矩形形状を考慮した衝突回避による狭駐車場への自動駐車の実車検証 (ROBOMECH2023)</p>	<p>星野 航輝 (名古屋大学) 本田 康平 (名古屋大学) 青木 瑞穂 (名古屋大学) 奥田 裕之 (名古屋大学) 鈴木 達也 (名古屋大学)</p>
<p>ユマニチュードの触れ始めを再現するロボットハンド (ROBOMECH2023)</p>	<p>豊田 真行 (奈良先端科学技術大学) 湯口 彰重 (東京理科大学) 趙 崇貴 (東京電機大学) 佐藤 勇起 (茨城大学) 高松 淳 (Microsoft) 中澤 篤志 (岡山大学) 和田 隆広 (奈良先端科学技術大学) 小笠原 司 (奈良先端科学技術大学)</p>
<p>混合ガウスモデルに基づく理想軌道へ誘導可能な微細操作支援システム (ROBOMECH2023)</p>	<p>森 涼哉 (名古屋大学) 青山 忠義 (名古屋大学) 小林 泰介 (国立情報学研究所) 竹内 大 (名古屋大学) 長谷川 泰久 (名古屋大学)</p>
<p>人間ロボット協調作業のためのベイズ最適化によるインピーダンスプロファイル生成 (ROBOMECH2023)</p>	<p>トランドク リエム (防衛大学) 山脇 輔 (防衛大学) 藤原 浩幸 (防衛大学) 八島 真人 (防衛大学)</p>
<p>進路が交差する歩行者間インタラクションの観測と判断モデルの構築 (ROBOMECH2023)</p>	<p>内田 和磨 (名古屋大学) 児玉 直紀 (名古屋大学) 黒田 和秀 (名古屋大学) 奥田 裕之 (名古屋大学) 鈴木 達也 (名古屋大学)</p>
<p>Multi-presence における Attention Management に関する研究 —主観・俯瞰視点に応じた拡張身体群への残存注意による パフォーマンス向上効果の検証— (ROBOMECH2023)</p>	<p>辻 歩 (早稲田大学) 岩崎 悠希子 (早稲田大学) 西田 野々香 (早稲田大学) 加藤 史洋 (早稲田大学) 岩田 浩康 (早稲田大学)</p>
<p>痛覚を伴うファントムセンセーションの性質 (ROBOMECH2023)</p>	<p>渡辺 亮 (東京電機大学) 五十嵐 洋 (東京電機大学)</p>

講演題目	受賞者
低周波触圧分布提示のためのバルーンアクチュエータユニットの開発 (ROBOMECH2023)	春田 鴻志 (東京大学) 吉元 俊輔 (東京大学) 伴 祐樹 (東京大学) 福井 類 (東京大学) 山本 晃生 (東京大学)
姿勢計測によるウェアラブル人工指における力推定の向上 (ROBOMECH2023)	ODERDENE SARANOCHIR (名古屋工業大学) 橋本 雅俊 (花王株式会社) 度会 悦子 (花王株式会社) 五十嵐 崇訓 (花王株式会社) 田中 由浩 (名古屋工業大学)
混合粉体を用いたジャミング転移センサの特性評価 (ROBOMECH2022)	多賀 康太 (神戸市立工業高等専門学校) 清水 俊彦 (神戸市立工業高等専門学校) 小澤 正宜 (神戸市立工業高等専門学校) 酒井 昌彦 (神戸市立工業高等専門学校) 尾山 匡浩 (神戸市立工業高等専門学校) Julien AMAR Samuel (神戸市立工業高等専門学校) 池本 周平 (九州工業大学)
柔らかさを誘発する緩やかな曲面形状に関する基礎研究 (ROBOMECH2023)	梅村 望 (名古屋工業大学) 田中 由浩 (名古屋工業大学)
協調作業の拡張を目指した複数の感覚運動情報共有デバイス (ROBOMECH2023)	渡邊 一真 (株式会社高津製作所) 湯川 光 (名古屋工業大学) 南澤 孝太 (慶應義塾大学) 田中 由浩 (名古屋工業大学)
スマートフォン側面部電気刺激インタフェースを用いた柔らかさ感を提示できるグリップ入力手法の検討 (ROBOMECH2023)	高見 太基 (電気通信大学) 齋藤 大雅 (電気通信大学) 亀岡 嵩幸 (筑波大学) 溝口 泉 (電気通信大学) 梶本 裕之 (電気通信大学)
アルコール液滴内のマランゴニ対流と自走に関する考察 (ROBOMECH2023)	鈴木 琳子 (早稲田大学) 澤田 秀之 (早稲田大学)

講演題目	受賞者
ナノ深さ矩形流路を用いたナノインプリント用レジスト材料の濡れ現象の観測 (ROBOMECH2023)	鈴木 雅仁 (名古屋大学) 伊藤 伸太郎 (名古屋大学) 福澤 健二 (名古屋大学) 東 直輝 (名古屋大学) 張 賀東 (名古屋大学)
吸着機構を備えた空気圧駆動の人型ロボットによるバドミントンの踏み出し動作の実現 (ROBOMECH2023)	吉田 龍史 (九州大学) 木口 量夫 (九州大学) 西川 鋭 (九州大学)
スケートボード技術獲得を支援するインタラクティブシステムの検討 (ROBOMECH2023)	作農 匠海 (筑波大学) 山口 友之 (筑波大学)
2細胞封入液滴の生成に向けた仮想粒子バルブの提案 (ROBOMECH2023)	角村 勇真 (九州大学) 鳥取 直友 (九州大学) 佐久間 臣耶 (九州大学) 山西 陽子 (九州大学)
蛍光共鳴エネルギー移動によりひずみを可視化するハイドロゲル (ROBOMECH2023)	山下 忠紘 (慶應義塾大学) 瀧 真清 (電通大) 谷田部 和貴 (電通大) VOGEL Viola (スイス連邦工科大学)
融合細胞の作製に向けた2細胞封入液滴へのオンチップ電圧印可 (ROBOMECH2023)	福永 裕輝 (九州大学) 鳥取 直友 (九州大学) 佐久間 臣耶 (九州大学) 坪内 知美 (基礎生物学研究所) 山西 陽子 (九州大学)
高透磁率材料創生に向けたプラズマ誘起気泡の反応性界面の研究 (ROBOMECH2023)	竹田 匠吾 (九州大学) 鳥取 直友 (九州大学) 佐久間 臣耶 (九州大学) 山西 陽子 (九州大学)
マルチエージェントシステムによる低速降下物体の空中回収について (ROBOMECH2023)	山崎 光一 (名古屋大学) 原 進 (名古屋大学)

ロボティクス・メカトロニクス講演会2025(ROBOMECH2025 in Yamagata)開催案内

開催日：2025年6月4日(水)～7日(土)

会場：山形ビッグウイング (〒990-0076 山形県山形市平久保100番地)

(ポスター講演・企業展示)

やまぎん県民ホール (〒990-0828 山形県山形市双葉町1-2-38)

(ワークショップ・チュートリアル, 表彰式・特別講演, 市民向けイベント)

講演会URL：<https://robomech.org/2025/>

ROBOMECH2025実行委員長 妻木 勇一 (山形大学)

ロボティクス・メカトロニクス講演会2025 (ROBOMECH2025 in Yamagata) は「フロンティアを拓くロボティクス・メカトロニクス」をテーマに、2025年6月4日から6月7日にかけて山形ビッグウイング (ポスター講演・企業展示) とやまぎん県民ホール (ワークショップ・チュートリアル, 表彰式・特別講演, 市民向けイベント) で開催します。現在のロボット・メカトロニクス技術は、製造業はもとより、医療、飲食業、運輸業、建設業、農林水産業など、様々な分野に取り入れられ、それぞれの分野のフロンティアを切り拓く原動力の一つとなっています。宇宙開発や深海探査においては、文字通りのフロンティアを開拓しています。ロボティクス・メカトロニクス技術のフロンティアと共に、幅広く、活発な議論が行われることを楽しみにしています。6月4日はワークショップ・チュートリアルを開催します。6月5日、6日にポスター講演と企業展示を行い、6月7日に市民向けイベントを実施します。6月5日の特別講演には世界初の火星衛星サンプルリターンミッションMMXのプロジェクトマネージャーであり、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所教授の川勝康弘先生をお招きします。フロンティアを拓く宇宙探査のお話にご期待下さい。

開催地となる山形は、近くに山寺、蔵王、最上川と景勝地が多く、天童温泉、かみのやま温泉、銀山温泉をはじめとするたくさんの温泉もあります。米沢牛を筆頭とする豊かな食文化と美味しい日本酒が皆様をお待ちしております。なにより開催時期はさくらんぼのシーズンがはじまる頃です。ロボメカ講演会と共に、山形をぜひ楽しんで下さい。

主要日程 (予定)

OS募集締切 : 2024年11月18日 (月)

講演申込締切 : 2025年1月27日 (月)

企業展示・広告・企業PR申込締切 : 2025年4月21日 (月)

今後の行事についてのご案内

●ヒト型レスキューロボットコンテスト2024

日時：2024年11月3日 (日)

場所：大阪電気通信大学 寝屋川キャンパス (〒572-0833 大阪府寝屋川市初町18-8)

URL：<https://humanoid-rescon.org/>

●おしゃべり☆ロボットランド

日時：2024年11月16日 (土)

場所：クロスパル高槻 視聴覚室 (〒569-0804 大阪府高槻市紺屋町1-2)

URL：<https://www.jsme.or.jp/event/24-121/>

●親子ロボットのスカベンジャー工作教室

日時：2024年11月24日 (日), 12月15日 (日)

場所：東京都立産業技術高等専門学校 荒川キャンパス (〒116-8523 東京都荒川区南千住8-17-1)

URL：<https://www.jsme.or.jp/event/24-128/>

●フューチャードリーム！ロボメカ・デザインコンペ2024

日時：2024年12月21日（土）（最終審査会）

場所：福岡市科学館（〒810-0044 福岡県福岡市中央区六本松4丁目2-1）

URL：<https://www.jsme.or.jp/event/24-95/>

●第30回ロボティクスシンポジア

日時：2025年3月18日（火）～19日（水）

場所：道後温泉 大和屋本店（〒790-0842 愛媛県松山市道後湯之町20-8）

URL：<https://www.robotics-symposia.org/30th/>

●ロボティクス・メカトロニクス講演会2025

日時：2025年6月4日（水）～7日（土）

場所：山形ビッグウイング（〒990-0076 山形県山形市平久保100番地）

やまぎん県民ホール（〒990-0828 山形県山形市双葉町1-2-38）

URL：<https://robomech.org/2025/>

第102期ロボティクス・メカトロニクス部門

部門長 吉見 卓（芝浦工大）

副部門長 田中 孝之（北海道大） 幹事 平山 元樹（JUKI）

編集：広報委員会

委員長 小水内 俊介（香川大） 副委員長 高田 敦（東工大）

委員 衣川 潤（福島大） 幹事 永野 光（工繊大）

ロボメカ部門関係アドレス

■部門ホームページURL

<https://www.jsme.or.jp/rmd/>

■部門広報委員会メールアドレス

rmd@jsme.or.jp